

会 議 録

| | | | |
|--------------------|--|--|----|
| 会議名 (審議会等名) | 令和7年度第3回相模原市地域福祉推進協議会 | | |
| 事務局 (担当課) | 健康福祉局地域包括ケア推進部地域包括ケア推進課 電話 042-769-9222 (直通) | | |
| 開催日時 | 令和8年3月27日(金)午後3時00分～5時00分 | | |
| 出席者 | 委員 | 9人(別紙のとおり) | |
| | 事務局 | 地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長、在宅医療・介護連携支援センター所長、高齢・障害者福祉課長、精神保健福祉センター所長、生活福祉課長ほか4名 | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 地域福祉計画見直しのための基礎調査結果について (2) 第5期地域福祉計画の見直しについて (3) その他 4 閉 会 | | |

審 議 経 過

内容は次のとおり。

1 開 会

2 あいさつ

地域包括ケア推進部長よりあいさつを行った。

3 報告事項

地域包括ケア推進課長より、令和7年12月1日付民生委員・児童委員の一斉改選の結果について、委員に報告した。

4 議 題

(1) 地域福祉計画見直しのための基礎調査結果について

【事務局】資料1により説明。

(森下委員) 資料1の5ページにあるアンケート問18の回答結果について、その1つ前の設問で、利用した福祉サービスについての満足度を聴き、問18ではその満足度を選んだ基準について選んでもらった結果を記載したものと思う。

この結果の記載を見て、サービスに満足と思った人が何を基準にそう思ったのか、不満と思った人は何を基準にそう思ったかというのは分かるか。

たとえば、障がいのある人に関するサービスでは、「利用料金」を評価基準にしたという回答が前回より増えているが、利用料金が満足だったのか、不満だったのかというのがこの資料から読み取れるか。

【事務局】この結果速報では、それを分かる記載ができていない。報告書確定版では、クロス集計を活用してそちらの結果が分かるようにさせていただきたい。

(佐藤委員) 地区社会福祉協議会アンケートの回収率について、22地区のうち16地区からしか回答がない。任意の調査とはいえ、母数が少ないのだから何らかの働きかけをして回答率を上げたほうがよいと思う。

【事務局】期限までに回答のなかった地区社会福祉協議会には、改めて回答のお願いをして、提出いただければアンケート結果へ反映できるようにしたい。

(笹野委員)地区社会福祉協議会調査の回収は郵送としているか。市社会福祉協議会の立場からいうと、地区社会福祉協議会には地域福祉推進員や地域福祉支援員を配置しており、地区社会福祉協議会へ情報を流すとか情報を集めるとか、漏れなく回答票を集めるというようなことはそれほど困難ではないため、22地区すべての回答が揃わないというのは想定できなかった。

民生委員児童委員向けのアンケートであれば、個人で回答してもらっているものだから本当に都合があって出さないこともあると思われるが、地区社会福祉協議会がこの調査の回答を拒否しているみたいな感じになると、あまりよろしくないと思う。手が打てるのであれば、対応した方がよい。

(成瀬委員)22地区社会福祉協議会を代表して参加している成瀬です。22地区がある中で、どうしてこの数字しか回答が来ないんだというご指摘について、私もこれはちょっとまずいなと思った。本来ならばどの地区も積極的にアンケートに回答いただきたいと思っている。

22地区社会福祉協議会の全体会が来年度早くに開催されるので、そういった機会を通じて地区の会長にはこうした状況を知っていただき、協力していただきたいと思っている。

【事務局】地区社会福祉協議会調査のアンケートについては、委託ではなく市で取りまとめを行うものであり、回答があれば最終版に結果を入れることは可能なため、回答のない地区に確認してご意見を反映するよう努める。

(2)第5期地域福祉計画の見直しについて

【事務局】資料2により説明。

(和田委員)計画の見直しについて、現状と課題の見直しの中では再犯防止計画についても、今後見直すことを考えているか。

また、資料1の17、18ページにある「社会を明るくする運動」の認知度に関する質問の結果で、『知らなかった』という回答の数値が令和4年度と令和7年度を比べてほとんど変わっていない。もう76年もこの活動を行っているにもかかわらず、なかなかこういった認知度が上がらないということで、この計画の現状と課題の見直しの中で、そういったことも加味していただけるのかというのがあった。

また、国も調査を行っており、「社会を明るくする運動」を知らなかったという割合が73.3%ということで、これは国レベルでも認知度がまだまだ低いというところがある。

それと、本市の今回の調査で「保護司」の名称と取組みを2割の方が知っている

ということだが、これも国の調査では保護司の名称の認知度が66.8%であり、その前の平成30年度時には57.4%と上昇している。これは一昨年、滋賀県の大津市で事件が発生したこともあり認知度が上昇したものと思うが、更生保護が社会に果たしている役割と言うのはまだまだ伝えきれていないという点で、見直しの時に一緒に考えてもらえればと思う。

(成瀬委員) 資料1の6ページ、地域の支え合い・助け合いに関する設問で、自治会活動が福祉についてそれなりの役割を果たしているということについては認識されるけれども、資料2にある自治会加入率の推移を見ると44パーセント程度の方しか自治会に入っておらず、いろいろなところで自治会の力が落ちている。

地域の中の福祉においても自治会絡みで動いていくことも多いので、これは何とかしていかなきゃいけないと思っている。

行政の方でもいろんな媒体で自治会に入りましょうというPRをしているけれども、十分ではないのかなあというところで、行政の担当者としてどう思っているか聴かせてほしいと思っている。

(山口委員) 市の自治会連合会の理事をやっております、山口です。今ご指摘があったように、我々としても自治会加入率の低下は毎年非常に苦しんでいるところ。

したがって、自治パスを作ったり、色々な施設で割引が受けられるとか、そういったご協力をいただいて、いろいろと手を打っているが、なかなか厳しいというのが実情である。

私の単位自治会では2年間で世帯数が1,800から1,690程に減ってしまった。

これは、いろいろと話を聴けば「自治会に入って何のメリットがあるの」と、特に若い人はこのような言い方をされている。

例えばの話で、防犯灯の電気が切れたりしたら市の方に連絡してつけてもらうとか、カーブミラーとか、いろんな形で市と連携してやっているんですよと言う話もしているが、そうすると若い人は、「私たちは税金払っています。自治会に話さなくても市の方に連絡すれば全部すぐつきます。カーブミラーもすぐつきます。」というような回答も返って来る。

確かに、今は直接市に連絡すれば市も聞いて「わかりました。すぐやります。」というような形で、自治会も確かに関係ないようなことになってきている。

私どもとしても市長に毎年要望書という形でいろいろな部分で出しておりますけれども、なかなか解決につながっていない。

自治会加入率の減少については、若い人が自治会に入らないのと同時に、もう1つは高齢者が退会しているということがある。

高齢者が自治会に入らない理由は全く若い人と違って、「迷惑をかける」という。

自分達がやっていると感じをかける、例えば班長をやったり、その他でも協力できない。迷惑かけるからだからやめるんだと言う。逆に高齢者には手を差し伸べたいからいてほしいんだって伝えるけれども、「いやいや本当に皆さんに迷惑をかけてしまうから」と、どうしても話を聞いてくれなくて退会してしまう。

私どもも、連合会としても、非常にいろいろと頑張っているけれども、残念ながらこういう結果になってしまっている。でも、まだまだ諦めずに、頑張っていきたい。

(事務局)自治会加入率の低下というのは、本市だけの課題ではないと認識している。

本日は自治会を所管している部からの出席は無いが、地域福祉を一部になっている地域包括ケア推進課としても、その部分は課題だと認識をしている。

市の自治会を所管する部署を中心に、自治会加入率を上げる取組は色々な角度から取り組んでいるが、ご紹介いただいたように、それぞれ世代の考え方があるところに何とか自治会に加入するメリットを生み出せないかと取り組んでいる。

地域づくりにおいても、担い手不足が課題となっており、自治会の活動ともつながって来ると思っている。

(中谷委員)この策定スケジュールを見て、令和8年度の4月ぐらいから関係団体や

関係者から意見をオープンハウス等で意見聴取をして素案を作るとのことだが、この基礎調査からも伺えるように、周知の問題がとても大きいのかなと思う。

自治会も含めて「知らなかった」という回答や、「周知がちゃんとできていない」という回答が多くあったと思うので、その辺りも含めて、どういう周知をしていけばいいかというのを具体的に聞いてもらえたら、もう少し次の見直しについて考えていけるのかなと思った。この4月から7月、8月ぐらいまでの、いろんな聴き取りであったりとか、オープンハウスでの意見交換にはぜひ、そういう視点で、若い人たちが集まるような工夫をしてもらえればと思う。

(事務局)現行計画を作成した際に、初めてオープンハウスという取組みを開始した。

その中で40歳未満の方が190名くらい参加していただいた。

比較的若い方にも、こういった計画があって、計画策定に当たって審議会等でいろいろ議論がされていて、この計画に基づいていろんな施策が検討されているということを初めて知った、こういう機会が非常にありがたい、という声もあった。

今回もオープンハウスを行う中では、若い方にも関心を持っていただきながら、この計画の策定を進めていけたらと考えている。

(笹野委員)オープンハウスは、若い人達のように行政の情報を自ら入手しない人へ伝わるという意味では、伝える効果がすごくある。

ただ、多くの人にいろいろ興味を持ってもらえて意見も出てきたけども、結果、「それらをどういう風に使おうか」みたいなことになってしまうこともある。周知には確かに効果があるのだけれども、設問はちょっと工夫しないといけないと思うので、その点にご留意いただきたいというのが一つある。

もうひとつ思ったのが基礎調査の「悩みの解決」について、悩みの相談先がないという人にその悩みを解決する方法を聴くという設問だが、その回答で圧倒的に多くかったのが「インターネットで解決策を探す」というもの。これは令和4年度と7年度の基礎調査で違いがすごく大きくなっている。

これに関して言うと、社協の中でも「最近のご高齢の方もスマホを持ってインターネットを使っている方が、実はたくさんいますよ」ということを聞くことがある。

みんなが端末を使って情報を入手したり、発信したりするということで、インターネットの周知については、今まで伝わってなかった情報が伝えられるかもしれないし、そういった観点で議論をしてみてもいいのかなと思った。

また、自治会の加入率促進の話で、自治会の条例を作ろうと、市民局でそれを話し合う検討機関を立ち上げるようなお話を聴いた。

『コミュニティが充実していないと地域福祉もなりたっていない』と、前回の地域福祉計画の会議でも謳っていて、市社協も小さな単位でのコミュニティ・縁づくりを活動計画に盛り込んだ。そうした地域のつながりを作る取組が、ひいては「自治会をまたやりましょう」に繋がるのかなと思っている。自治会条例の検討については他の部局かもしれないけども、情報を並行して考えながら地域福祉計画の検討ができたらいと思う。

(事務局) 今、ご指摘のあった自治会加入条例については、今後、確認して情報提供できる段階でお出しできればと思う。

(佐藤委員) 令和8年度のスケジュールのところだが、5回目の審議会が、令和9年に必要に応じてとなっている。これは、パブリックコメント終了後に、必要があれば開催するという理解でよろしいか。

(事務局) パブリックコメント終了後、その結果をある程度まとめて、その情報をもって開催できたらというふうに考えている。時期としては2月ないし3月というところになるかもしれないが、ご協力をお願いしたい。

4 閉 会

以 上

相模原市地域福祉推進協議会 委員名簿

| | 氏 名 | 所 属 等 | 備考 | 出欠席 |
|----|--------|------------------------------------|-----|-----|
| 1 | 岡城 孝雄 | 相模原市民生委員児童委員協議会 | | 欠席 |
| 2 | 小野 敏明 | 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 田園調布学園大学名誉教授 | 会長 | 出席 |
| 3 | 鍛冶 雄樹 | 一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会 | | 出席 |
| 4 | 笹野 章央 | 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 | | 出席 |
| 5 | 佐藤 勝己 | 公募市民 | | 出席 |
| 6 | 渋谷 健太郎 | 公益社団法人 成年後見リーガル・サポート 神奈川県支部 | | 欠席 |
| 7 | 清水 淳一郎 | 相模原市私立保育園・認定こども園園長会 | | 欠席 |
| 8 | 恒藤 玲子 | 特定非営利活動法人相模原ボランティア協会 | | 欠席 |
| 9 | 中谷 正代 | 相模原市障害福祉事業所協会 | | 出席 |
| 10 | 成瀬 貞司 | 相模原市22地区社会福祉協議会 | 副会長 | 出席 |
| 11 | 松崎 早希 | 公募市民 | | 欠席 |
| 12 | 森下 美香 | 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 | | 出席 |
| 13 | 安永 佳代 | 神奈川県弁護士会 | | 欠席 |
| 14 | 山口 信郎 | 相模原市自治会連合会 | | 出席 |
| 15 | 和田 隆一 | 相模原市保護司会協議会 | | 出席 |